

松山市三津浜地区の視察研修報告書

1. 目的 三津浜地区での起業者の実態を視察し、郡中まちなかでの雇用と起業の創出に活かす
2. 行程 平成27年5月17日（日）14時15分 郡中まち元気サロン 来良夢（こらむ）集合
ジャンボタクシー2台に分乗し移動
15時 にぎわい創出施設「ミツハマル」を起点に、17時30分頃まで三津浜地区の古民家や起業者の状況等を視察
17時30分頃～19時30分 平成船手組事務所で食事及び研修
19時40分頃ジャンボタクシー2台に分乗し移動
20時10分頃 来良夢前で解散
3. 参加者 起業創出会議「暮らし起業を考える～ワークショップからまちを変える～」関係者
計20名

4. 視察研修の経緯

近年、三津浜地区でいろいろな業態の起業が見られる。

アドバイザー 愛媛大学教授 前田 眞氏を通して、ボランティアまちづくりグループ「平成船手組」顧問 藤岡敏明氏に視察研修のガイド等を依頼し視察研修のはこびとなった。

5. 三津浜地区の概要

以下 三津浜地区活性化計画（平成26年7月 松山市）より転写

（計画の背景）

松山市の西部に位置する三津浜地区は、江戸時代には松山藩の御船手組（船奉行所）が置かれた港町で、漁業や商業で栄えたまちでした。明治期には正岡子規や秋山兄弟もここから出航して上京するなど、明治から昭和の中頃まで、松山と本州や離島を結ぶ海の玄関として、あるいは松山市の物流の拠点としての要衝となっていました。

しかし、近年においては海から陸、空へと交通手段が変化したことに加え、近隣の高浜旧港、松山観光港等の整備によって、三津浜地区の港町としての相対的位置づけが大きく変化しています。

近年の三津浜地区の人口及び世帯数は、平成12年から平成22年まで一貫して減少傾向にあり、平成12年の人口6,297人がこの10年間で13.9%（877人）も減少し5,420人となりました。また、高齢化率（全人口に対する65歳以上人口の割合）は増加傾向にあり、平成12年の24.2%が平成22年には28.8%にまで上昇しています。さらに、三津浜地区の事業所数・従業者数も減少傾向にあり、まちの活力の低下が顕著になっています。

●活発な地元のまちづくり活動

平成6年に地元の有志が三津浜地区の活性化を目的として設立した「平成船手組」では、これま

で、地区内に数多く点在する町家などに着目し、「みつはま生活博物館」のマップづくりやまち歩きなどに取り組んできました。

さらに、平成20年頃から“食”を中心とした活動にも力を入れるようになり、三津浜商店街と連携した「シーフードバーベキュー」の開催のほか「三津浜焼き」のPRなどに取り組むようになっていきました。平成25年には地元の各組織の代表者などで構成する「三津浜地区にぎわい創出実行委員会」を立ち上げ、まちづくりについて協議・検討するとともに、交流人口の拡大を目指し、グルメ散策イベント「三津バル+(プラス)」を開催しました。

また、松山の夏の風物詩となった四国最大級の「松山港まつり三津浜花火大会」では、企画・実行において地元も積極的に関わり、法人会員を中心に構成された西部地域開発協議会や三津浜商店街など、様々な組織が連携して、活発なまちづくり活動を展開しています。

●町家を活かした店舗等の開設

三津浜地区では、町家を活かしたカフェや、資料館、地元の新鮮な魚介を使用した飲食店の営業が行われています。また、本市では平成25年4月に、三津浜地区の活性化やにぎわいづくりの拠点となる「三津浜にぎわい創出事務所（三津ハマル）」を開設しました。この三津ハマルでは、三津浜地区の空き家や古民家などの情報を収集し、利活用を図る「町家バンク」を構築しており、所有者と入居希望者の需要と供給のマッチングを図る事業や、地域資源を活用したイベントを構築するなど、三津浜地区のまちづくり活動の支援に取り組んでいます。

こうした取り組みを進めた結果、商店街の空き店舗や古い倉庫を活用し、ワインバーや洋服店などが相次いでオープンするなど、まちのにぎわいの創出につながっています。

6. 視察研修の結果と感想

(1) 起業者の傾向

- 起業者の年代は、30歳～40歳代
- 業種は雑貨店、飲食店等
- 起業した店舗は、古い町家や民家が多い
- 借家賃料の安さが魅力
- 三津浜出身の起業者には「地元愛」も見られる

(2) 何故三津浜で起業するのか

- 歴史のある港町で、古い町家が多数現存する町の雰囲気若い人を引き付ける
- 三津浜地区のまちづくり手法は、住民主役・行政参加型だが、松山市の多様な補助事業もまちづくりを進めている要因の一つと思われます。まちづくりに関わる団体等が、まちの魅力や起業に係る情報提供を積極的に行っている。
- 住民も排他的でない



ボランティアまちづくりグループ 平成船手組



にぎわい創出施設 ミツハマル



三津浜地区視察研修 参加者名簿

	郡中まち元気 推進協議会	団 体 名 他	氏 名
1	会長	(株)まちづくり郡中 代表取締役	一色 克仁
2	副会長	(株)まちづくり郡中 専務取締役	片岡 直人
3	顧問	(株)まちづくり郡中 相談役取締役	徳本 研三
4	委員	愛媛県建築士会伊予支部	若松 一心
5	委員	(有)にくの一色	一色 喜代子
6	委員	灘町B広報区長	小島 将敬
7	委員	郡中いっぷく亭運営委員	水口 純子
8	委員	トータルファッション タニオカ	谷岡 扶美
9	委員	伊予市経済雇用戦略課 主任	福岡 潤
10	委員	伊予市商業協同組合 理事	日野 鈴香
11	委員	伊予商工会議所 中小企業相談所 所長	篠崎 博志
12	委員	伊予市商業協同組合 理事	竹田 惣一
13	委員	ヤマキ株式会社 業務サポートセンター 次長	横山 正紀
14	アドバイザー	愛媛大学 教授	前田 眞
15	アドバイザー	公益財団法人えひめ産業振興財団 プロジェクト マネージャー	山口 誠
16	アドバイザー	特定非営利活動法人 まちづくり支援えひめ 代表	稲田 里香
17	オブザーバ ー	伊予市経済雇用戦略課 課長	向井 裕臣
18	オブザーバ ー	公益財団法人えひめ地域政策センター 研究員	川原 隆司
19	事務局	(株)まちづくり郡中 タウンマネージャー	谷本 照美
20	事務局 補佐	(株)まちづくり郡中 町家施設マネージャー	重松 佳子